



応援用に作った紙で声援を送る住民ら

## 駆け付け掲げた「地球環境ファイト」

部員が交流する佐久の住民「地域の宝だ」

諏訪市のしんきん諏訪湖スタジアムで10日、全国高校野球選手権長野大会の初戦に臨んだ地球環境（佐久市）。佐久で野球に打ち込んだ選手たちを鼓舞しようと、多くの住民がスタンドに駆け付け、「地球環境高校ファイト」と書いた紙を掲げた。

地球環境野球部は佐久で、お年寄りの交流の場となっている「ふれあいいきいきサロン」に参加したり、常田地域で健康作りを進める「常田ポールウォーキングクラブ」にも参加したりしてきた。

「ファイト」の紙を作ったのは同クラブ。クラブコーチの佐藤珠美さん(56) 佐久市岩村田は「縁あって佐久に来てくれた子どもたちを、みんな孫のようにかわいく思っていて応援している」と話していた。

伊那北（伊那市）に0－9で敗れたが、選手が手を上げて住民の声援に応える場面もあった。原田幸一さん(82) 同市中込は「どんなに遠くても姿が見える」とあいさつしてくれる選手たちだった。地域の宝だ」と目を細めていた。